

< 留学体験記 >

海外大学研修 1

留学先：イギリス

赤 尾 耕 平

(英語圏文化専攻)

私はこの夏の三週間イギリスの語学研修に参加しました。参加を決意した理由は、友人と一緒にどうか？と誘われたからという、とても単純な理由でしたが、留学することで私は様々な経験をし、多くの刺激を受けました。その中でも特に2つのことが印象深く心に残っています。

一つ目は、英語がわからないならわからないなりに喋ることの重要性です。私が授業を受けることになったクラスは、様々な国の生徒が集まり一緒に授業を受けるクラスでした。教室ではロシア、イタリアそして韓国といった、日本ではなかなか話す機会が少ない国の人たちと英語で会話することができました。各国ごとに発音の違いや文化の違いを知ることができ、とても有意義な時間だったと思います。しかし、その授業スタイルは日本の授業とはかなり異なっており、全くの別物でした。日本では先生が生徒に与えた問題に答えるというのが一般の授業の進め方だと思います。けれども、現地の授業では約五分に一回はペアワークがあり、その後クラス全体で話し合うといったディベート形式でした。初回の授業から自分の意見を相手に伝えるということに不慣れだったため、最初はかなり恥ずかしく、日本以外の国からの留学生に対して劣等感を感じたこ

ともありました。特にはじめの一週間は相手のしゃべっている内容が全くわからないということもあり、授業が終わるとかなり落ち込んでいました。それでも時間が経つにつれ少しずつ確実に相手の英語が聞き取れるようになり、完全にわからないとしても自分の意見だけでもはっきりと伝えるよう心掛けました。そうした中、段々とクラスにもついていけるようになりました。こうした経験から恥ずかしさで英語を話さないことより、覚悟を決めて話しかけてみることの重要性を知りました。

二つ目は、自分の意見をはっきりと口に出すことの大切さです。現地では、寮で三週間過ごしました。しかしながら、寮生活は様々な試練を私たちに与えました。まず、シャワーから温水が出ないという状況に直面しました。最初の三日ほどは、いつか直るだろうと楽観的にとらえて特に行動も何もしていませんでした。ところが、状況は一向に改善されず、日本では何もなくても何とかなることもあります。海外では自分で何とかして状況を変えようとしないと何も変わらないということを強く感じました。結局 INTO の受付の方に直接要件を伝え、シャワーを直してもらいました。実際に伝えてから約二日後でしたが、きちんと修理されました。もっと早く訴えるべきだったと後悔しています。また、学校では一週間ごとに遠足があり、私はそれを利用してロンドンツアーに参加しました。このロンドンツアーは行きも帰りも学校が用意してくれるバスを使いました。現地では自由行動でした。もちろんロンドンに初めて訪れた場所で、観光名所もありとても充実した時間を過ごしました。しかし、私はそこで見事に迷子となり、集合場所であったはずのバスの場所も完全にわからなくなってしまいました。海外のまったく知らない場所で、しかも携帯も使えず、日本に帰ってからあの時のことを思い出すだけで今も寒気がします。まさに史上最大のトラ

ブルでした。しかし、そのとき、道を人に聞いて回り、本当にたかさんの人に助けてもらいました。結局バスが辛抱強く待っていてくれたおかげで、無事に寮に帰ることができました。

留学先のグロスターシャー大学には留学生が参加しやすいようなアクティビティーやツアーなどが多く用意されていて授業以外でも多くの留学生と接するチャンスがありました。人付き合いが苦手な人でも、大丈夫だと思いました。留学生も海外だけでなく、日本からの留学生もたくさんいたのでかなり交友関係も広がったと思います。

留学を経験する前、私は何気なしに英語を学習していただけでした。冒頭で述べましたが、今回の留学に参加した理由も最初は友達に誘われたからというものでした。しかし、現地でいろいろな国の人たちと英語を使って会話をし、まさに外国で日常を過ごすという経験をしていく中で、日本に帰ってからも英語をもっと流暢に話せるようになりたい、もっと外国の人たちと楽しく会話をしたいと思うようになりました。今回の留学で、他人に話しかける、質問をする、自分の意見を言う、といった点においてはかなりの度胸がついた気がしています。イギリスでの、自分で何とかするしかないという日常生活を通して、自分自身の内面における様々な壁をぶち破ることができた気がしています。こうした留学経験を活かしつつ、これからもしっかりと英語を学習していきたいと思います。このように決意させてくれた今回の留学は、やはりとても意義のあるものであったと確信しています。